



長崎フォトフェスティバル 2020より 写真提供:竹野 大志(@take.nagasaki)

長い長い年月をかけて、 波がかじっていった、 りんごです。

長崎県の海岸線の総延長は約4,166 km。
これはなんと、日本の海岸線の約12%にあたるのか。
複雑な入り江が多い地形。それだけに、個性あふれる海岸模様を見ることができます。
ここも一例、長崎市かきどまり白浜の「傘岩」。
いやそれよりも、かじったりんごのカチカチをイメージした、
「りんご岩」という通称のほうが知られているかもしれません。
およそ500万年前の火山噴火で生まれた岩が、波で浸食されて、いまではこの姿になりました。
この海岸は、絶好のサンセットのスポット。
夕日のシルエットには、ほんと「りんご」だ！という声があがります。

「りんご岩」のサンセット

長崎で、会いましょう。